◎各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は５月２０日（月）発行の予定です。
「まちかど」カラー版は、品川区役所ホームページからご覧いただけます。http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

●荏原第一地域新聞●

第１９３号
平成31年(2019)4月発行
発行・事務局
◎荏原第一地域センター◎
小山3-22-3（〒142-0062）
TEL　３７８６－２０００
FAX　３７８６－５３８５

自然災害の脅威を体験

連合町会 防災施設見学会

荏原第一連合町会／防災施設見学会が2月22日（金）に実施されました。今回の見学先は「栃木県防災館」。実際に起こりうる災害に備え、煙・大雨・大風・地震の疑似体験ができる施設です。

朝の8時に武蔵小山を出発し、見学先に到着したのは10時半。さっそく3つの班に分かれて、地震・風・煙を体験しました。震度7の揺れや、風速30メートルの強風などを体験した参加者は、その強さに驚きを隠せない様子でした。さらに各町会から一人ずつ大雨の体験も。普通の雨よりもはるかに多い滝のような大雨を体験し、参加者はあっという間にずぶ濡れに。滅多に経験することのできない貴重な体験となりました。

昼食を食べた後は「太子食品日光工場」を見学し、帰路に着きました。

今年は各町会から合わせて36名の皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。

（事務局）

花めぐり

ベニバナトチノキ

昨年4月、小山3-5のマンション正面にて撮影

ベニバナトチノキはアカバナトチノキ（北米南部原産）とセイヨウトチノキ（ヨーロッパ原産・マロニエとも言う）の交雑種として作られた園芸品種で、日本には大正末期に渡来しました。

5月頃、枝の先端に直立した赤い花穂をつけます。街路樹として植えられることが多く、20センチもある花穂は人目を引きます。花言葉は「博愛」「贅沢」などです。

子どもの頃、鳥取の親戚が送ってくれた“とち餅”。トチの実は食用ですがアクが強く、それを抜くには大変な手間と時間がかかると祖母から聞きました。その時は独特な風味とやや苦みのあるとち餅が苦手でしたが、最近は無性に食べたくなります。

おっと、話が逸れてしまいました。

（小山3丁目町会・柿沼恵子）

トピックス

車椅子で買物体験

支え愛ほっとステーション　地域住民に呼びかけ

高齢者の相談窓口である支え愛・ほっとステーションが、去る1月20日（日）にパルム商店街で車椅子体験講座を実施しました。この講座は車椅子体験を通して、より住みやすい地域の実現に向けて考える機会を作ることを目的としています。今回は地域の皆さんにご参加いただき、普段利用しているパルム商店街で買い物の体験をしました。終了後には体験の意見交換をし、たくさんの感想やご意見をいただきました。主な意見は次の通りです。

車椅子体験をする参加者

●目線が低いので見ているものが違うことに気付いた。また乗っていて人とすれ違う際に怖さを感じた。

●デコボコしている道は腰に響く。綺麗なカラーブロックは振動が大きく痛みのある人には大変。

●陳列棚の3段目くらいまでしか商品が見えないことが分かった。顔を上げるのが大変で買い物が不自由かも。

●車椅子では入ることの出来ないお店もあった。お店の前の自転車や看板など邪魔にならない工夫が必要ではないかと思った。

●車椅子でお店に入ったら、すぐに店員さんが声を掛けてくれて、同じ目線で対応してくれた。

初対面の方も多かったのですが、昔話も交えながら地域の課題について考え、とても楽しく有意義な時間を過ごすことができました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

荏原第一　支え愛・ほっとステーション
☎６４２１－５５５７

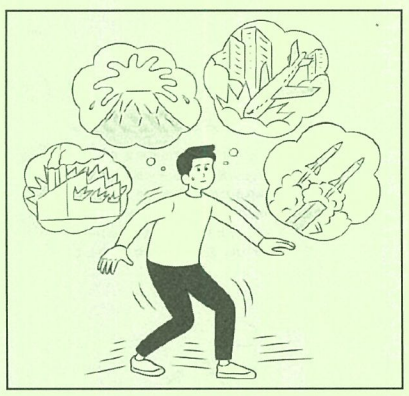
防災☆ワンポイント

（東京都発行「東京防災」より）

！地震発生その瞬間

地震発生の瞬間は適切な判断が難しい

大震災体験者の中には、突然の揺れに「飛行機が落ちた」「工場が爆発した」「火山が噴火した」と感じたと話す人もいます。身体がこわばって頭が真っ白になり、適切な判断が難しくなるのです。あらかじめ家族と話し合う、防火防災訓練への参加などで、とるべき行動を想像しておくことが大切です。

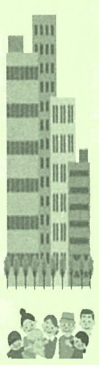


最優先で自分の命を守る

強い揺れで家具類が転倒して下敷きになったり、窓ガラスの破片などの落下物が頭を直撃すると、負傷したり命を落とす場合もあります。まわりの様子を見ながら、すぐに物が「落ちてこない・倒れてこない・移動しない」場所に移動。自分自身と家族の命を守ることを最優先に考えて行動します(自助)。

◎シリーズ◎
駅前再開発

⑱低層棟も姿を現し始めました



現在武蔵小山周辺では、武蔵小山パルム駅前地区、武蔵小山駅前通り地区の2つの再開発の工事が進行中です。

武蔵小山パルム駅前地区では、今年12月の建物竣工を目指し、高層棟と並んで低層棟も順調に工事が進み、近代的でお洒落な外観が姿を現し始めました。

3月現在、高層棟では最上階の施工中で、下階では内装工事を行っています。低層棟では外壁工事が完了した部分から順次外部足場の解体を行い、併せて内装工事を進めています。パルム商店街側では3月に防音パネルをB型バリケードに変更し、外構工事に着手しています。

3月末現在の様子

（参考資料／武蔵小山駅周辺地区開発連絡会ニュース）